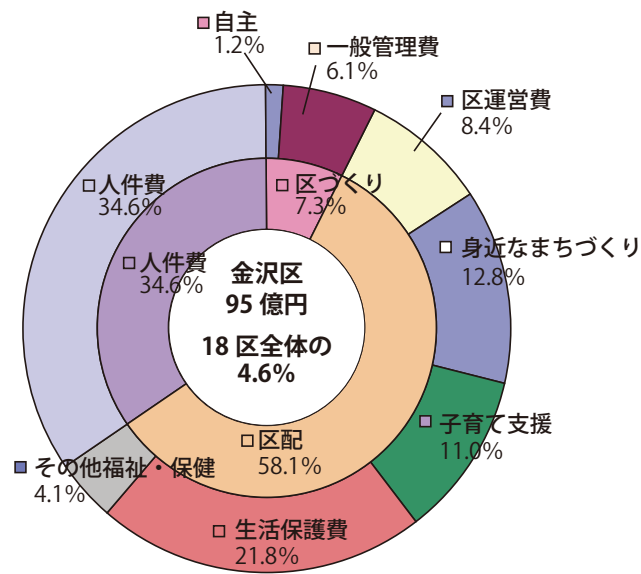
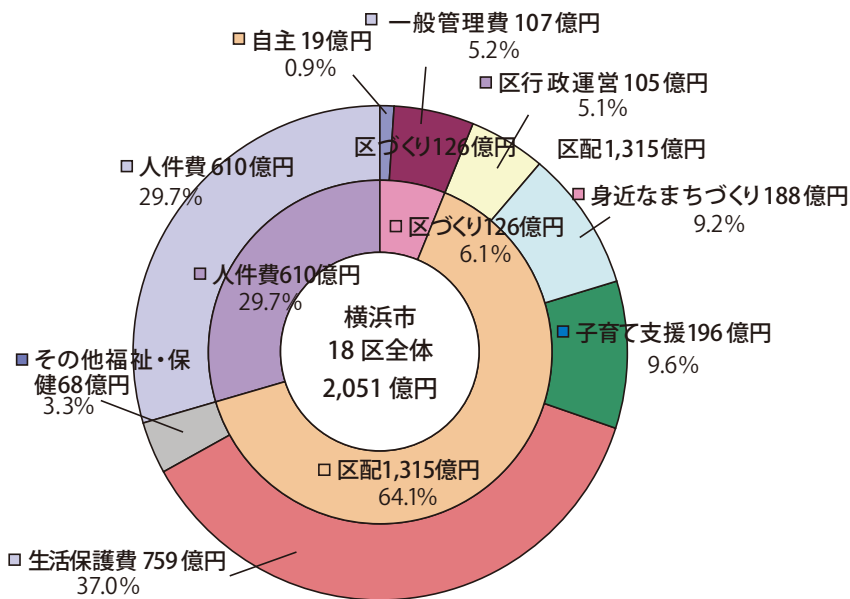


のりみが行く!!

金沢区に係る予算のすがた!



一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行なう会計で、主に市税が使われています。横浜市の平成27年度の一般会計の規模は1兆4,955億円ですが、このうちに区が執行している予算の規模は、人件費も含めて2,051億円になります。



注:各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

意外と知られていない金沢区の主要な事業です!

1 横浜グリーンバレー構想 (15,000千円)

エネルギーの需要量が多い金沢区臨海部において、地元企業を中心としたエネルギーマネジメントや事業所間のエネルギー融通に向けた取組を実施します。

2 市立大学関連

(1) 金沢八景キャンパスの耐震性等向上整備 (2,727,254千円)

市立大学金沢八景キャンパス内4棟(理科館、本校舎、文科系研究棟、付属校舎)について、耐震補強のための改築工事及び耐震補強工事を行います。

(2) iPS実用化拠点整備 (642,546千円)

iPS実用化拠点形成を支援するとともに、国際戦力総合特区の取組を加速させるため、市大先端医科学研究センター(福浦キャンパス)において、研究棟の増築を行います。

3 津波避難施設整備事業 (259,000千円:26年度からの繰越額)

八景公園内に津波避難施設を整備します。(27年度内に完成予定)

4 金沢区総合庁舎の再整備 (5,613,493千円:市民局、984,797千円:消防局)

金沢区総合庁舎第1工区(区役所・消防署)の建設工事を進めます。(第1工区は27年度しゅん工予定)

5 特別養護老人ホームの整備 (840,938千円)

金沢区大川に整備します。(28年度開所予定)

6 金沢八景駅関連

(1) 金沢八景駅東口地区土地区画整理事業 (809,030千円)

引き続き宅地整備、区画道路整備及び移転補償を進めます。また、国道16号の拡幅に向けて地下埋設物移設工事を行います。

(2) 金沢八景駅周辺整備事業 (953,263千円)

金沢八景駅東西自由通路の鉄道横断部の架設、駅西側道路の整備を進めるとともに、京浜急行駅舎改良事業に補助金を交付します。

(3) 金沢シーサイドライン (80億2433万円:都市計画道路等(横浜環状道路関連街路以外)事業費全体)

引き続き、延伸工事を実施します。

7 公園整備

- (1) (仮称)金沢八景西公園 (新設) (再掲) (2,935,008千円：特色ある公園整備等 事業費全体)
実施設計、歴史的建築物の調査を行います。
- (2) (仮称)小柴貯油施設跡地公園 (新設) (150,000千円)
環境影響評価手続、基本設計及び地質調査等を行います。
- (3) 金沢自然公園 (再整備) (2,169,140千円：大規模な公園の整備 事業費全体)
オセアニア区の再整備、動物園入口前園路のバリアフリー化を行います。



8 海岸保全基本計画策定事業 (漁港区域内) (5,670千円)

漁港区域における津波対策として必要な施設整備・改修について、海岸法に基づき、神奈川県が策定する海岸保全基本計画に位置付けるための調査を実施します。

9 下水道事業エネルギー対策・地球温暖化対策への率先行動 (1,873,282万円：事業費全体)

南部汚泥資源化センターでは、下水汚泥の焼却施設の更新にあわせ、「焼却」から「燃料化」へ転換し、下水汚泥から石炭代替燃料を創出する事業 (PFI 方式) を実施しており、27 年度に施設を完成させます。また、汚泥処理の過程で発生するバイオガスを用いた発電と都市ガス代替燃料としての利用を進めます。

10 拠点整備促進費 (23,730千円：事業費全体)

金沢文庫駅東口地区のまちづくりについて、既存計画の見直しを含め、引き続き、地元とともに検討を進めます。

11 がけ関係

(1) がけ地の現地調査の実施 (401,460千円：がけ地防災対策事業費全体)

区内の土砂災害警戒区域にあるがけ地 (622か所) について、がけ崩れの影響調査等の現地調査を行います。
(大きな被害が発生するおそれのあるがけ地40か所については、26年度調査)

(2) 道路がけ防災対策事業

道路を利用する市民の安全と交通機能確保のため、道路がけ防災工事を行います。

(ア) 柴町 (設計、工事) (65,000千円) (イ) 朝比奈町 (工事) (10,000千円) (ウ) 高舟台二丁目 (工事) (31,000千円)

12 橋梁の地震対策 (13億6900万円：全市分)

耐震補強及び補修工事を行います。

(1) 平湯橋 (2) 夕照橋 (3) かたぶき人道橋

13 横浜市地域交通サポート事業 (2,021千円：全市分)

地域にふさわしい交通サービスの実現に向けた地域主体の取組に対して、活動経費助成や調査の実施支援、実証運行の支援等を行います。(片吹地区・釜利谷地区・東朝比奈地区・高舟台地区)

14 文化財保全整備事業費 (55,189千円：全市分)

(1) 旧川合玉堂別邸の保護活用事業 (2,420千円)

市指定文化財旧川合玉堂邸について、主屋は一昨年の火災で全焼してしまいましたが、残った表門、園庭の保護活用、維持管理を行うとともに、26年度に策定した今後の活用策の方向性に基づき、具体的手法の検討等を行います。(警備委託、樹木剪定委託、活用検討、説明板の設置等)

(2) 御伊勢山・権現山急傾斜地防災工事事業 (50,000千円)

市指定天然記念物御伊勢山・権現山急傾斜地の樹叢のうち、六浦二丁目の急傾斜地は、民地と隣接しており、落石等の危険性があるため、擁壁を設置し安全対策を講じます。また、同地内に所在する中世のやぐらの発掘調査を事前に実施します。(27年度は調査・設計)

15 世界遺産登録準備事業 (15,984千円)

「鎌倉」世界遺産登録の再推薦に向けて、神奈川県・鎌倉市・逗子市と連携した準備作業を行います。

横浜市の予算がどのように使われているのかを審査する決算特別委員会が、10月頃から始まります。そんな中意外と知られていないのが、金沢区でどれだけの事業が進められているかではないでしょうか？今回は主な予算を取り上げてみました。崖地の多い金沢区では、防災上の整備もこれからの課題だと思いますし、高齢化し人口減少の進む金沢区では、路線バスの運行を望む声も聞きます。横浜市地域交通サポート事業なども必要性が増していくと思いますので、議会では重要性を議論していきます。ご意見やご助言など、ぜひ、お聞かせ頂けたらと存じます。